

芦屋市教育大綱 Ask what we can create for Ourselves, Ashiya, and the Globe.

Philosophy (どんな市民を目指すか?) : 自分と地球の未来を、探究と創造を通じて切り拓く市民

- 大きな変化に直面する社会でウェルビーイングに生きるためには、一人ひとりが**未来を切り拓く力**を育む必要がある。
- 未来は、**自分で問題を発見し深める(探究)**、**自分なりの価値を創り出す(創造)**の繰り返しによって切り拓かれる。
- **ともに目指すのは、自分、芦屋、日本、そして地球の未来をも切り拓ける市民になること**である。

そのために

Concept (どんな教育を目指すか?) : 「ちょうどの学び」とそれを支える環境づくり

- 探究と創造の循環を加速するため、**自分の特性や理解度等を踏まえた、公正で最適な「ちょうどの学び」**を実現する。
- 一人ひとりの未来を創る「学び」の**支え手たる教師が、プロとしての誇りと実力を持ち仕事ができる環境**を創る。
- **市民は、地域の一員として「学び」を支えると同時に、生涯「学び」続け、よりよい芦屋を共創する同志**である。

そのために

Contents (具体的に何をするか?) : 児童生徒・教師・市民、それぞれにとっての「ちょうどの学び」

児童生徒

【個別最適化】

教師の伴走とAI・ICT教育支援ツールの活用により、個性特性や興味関心・理解度等に応じて公正に個別最適化された「ちょうどの学習内容・学び方」を実現

【対話・協働・インクルーシブ】

異なる個性や特性・背景を持つ仲間と対話し、協働的に学び合う環境を創造

【探究・STEAMS】

自らへの問いから始まる探究学習・STEAMS教育で学びへの意欲を引き出す

【主体性】

自ら学びをデザインすることで、「なぜ学ぶのか」に対する納得解を得る
校則改正をはじめ、自分たちの社会を自分たちで良くする成功体験を支援

【国際教養力】

国際文化住宅都市を担う市民に必須の言語力・文化力・情報リテラシー力向上

【誰ひとり取り残さない】

不登校や学習障がい・発達障がい等の学びづらさを抱えた児童生徒に寄り添う

教師

【児童生徒により向き合える環境】

児童生徒により向き合える環境を創るための、部活動指導の地域移行や外部人材・ICT教育支援ツール等の活用による事務作業負担の整理・軽減

【主体性・専門性】

プロとしての実力・専門性向上のための主体的な探究・創造を支援

市民

【地域と学校の共創】

学校運営協議会を基盤とし、各地域でスポーツ文化活動・生涯学習を充実

【市民が主役の芦屋づくり】

芦屋の歴史文化や市民の経験を次世代に継承し、よりよい芦屋に向けて対話する世代を超えた場・機会を設け、「探究」と「創造」を実践